

別添：JSCT ATG15 臨床研究 共同研究実施医療機関および研究責任医師一覧

2020年5月25日 作成

所属機関	所属部署	職名	研究責任医師名	所在地	電話番号
北海道大学病院	血液内科	診療科長・教授	豊嶋 崇徳	札幌市北区北 15 条西 7 丁目	011-706-7214
市立札幌病院	血液内科	部長	山本 聡	札幌市中央区北 11 条西 13-1-1	011-726-2211
国立病院機構 北海道がんセンター	血液内科	医長	藤本 勝也	札幌市白石区菊水 4 条 2-3-54	011-811-9111
北榆会 札幌北榆病院	血液内科	診療部長	太田 秀一	札幌市白石区東札幌六条 6-5-1	011-865-0111
横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科	部長	藤澤 信	横浜市南区浦舟町 4-57	045-261-5656
神奈川県立がんセンター	血液内科	部長	金森 平和	横浜市旭区中尾 2-3-2	045-520-2222
横浜市立大学附属病院	血液リウマチ感染症内科	講師	萩原 真紀	横浜市金沢区福浦 3-9	045-787-2800
名古屋第一赤十字病院	血液内科	医長	尾崎 正英	名古屋市中村区道下町 3-35	052-481-5111
静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科	副医長	式 郁恵	駿東郡長泉町下長窪 1007	055-989-5222
岐阜市民病院	血液内科	部長	笠原 千嗣	岐阜市鹿島町 7-1	058-251-1101
大阪市立総合医療センター	血液内科	医長	林 良樹	大阪市都島区都島本通 2-13-22	06-6929-1221
大阪国際がんセンター	血液内科	主任部長	石川 淳	大阪市中央区大手前 3-1-69	06-6945-1181
京都府立医科大学附属病院	血液内科	部長	黒田 純也	京都市上京区河原町通広小路 上る 梶井町 465	075-251-5740
金沢大学附属病院	血液内科	助教	岩城 憲子	金沢市宝町 13-1	076-265-2274
富山県立中央病院	内科(血液)	部長	奥村 廣和	富山市西長江 2-2-78	076-424-1531

兵庫県立がんセンター	血液内科	部長	村山 徹	明石市北王子町 13-70	078-929-1151
姫路赤十字病院	血液・腫瘍内科	部長	平松 靖史	姫路市下手野 1-12-1	079-294-2251
島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科	診療科長・教授	鈴宮 淳司	出雲市塩冶町 89-1	0853-20-2308
九州大学病院	血液・腫瘍・心血管内科	助教	吉本 五一	福岡市東区馬出 3-1-1	092-642-5230
国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	血液内科	部長	衛藤 徹也	福岡市中央区長浜 3-3-1	092-721-0831
国立病院機構 九州医療セン ター	血液内科	科長	岩崎 浩己	福岡市中央区地行浜 1-8-1	092-852-0700
久留米大学病院	血液・腫瘍内科	診療科長・教授	長藤 宏司	久留米市旭町 67	0942-31-7852
佐賀大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科	診療科長・教授	木村 晋也	佐賀市鍋島 5-1-1	0952-34-2366

1. 資金源及び財政上の関係

本研究は、一般財団法人地域医学研究基金から助成された JSCT 研究会の研究費により実施される。尚、本研究は一般財団法人地域医学研究基金の基金に研究助成応募を行い、医学的な視点から公正に研究助成選考が行われており、特定の企業・団体の利益や便宜をはかるものではない。また、本研究の進捗状況や成果について年度毎に報告書を作成し、一般財団法人地域医学研究基金へ提出している。

2. 研究代表医師の利益相反管理

研究代表医師である北海道大学大学院医学研究科 血液内科学分野 豊嶋 崇徳は、本研究に用いる試験薬 タクロリムス水和物注射液、タクロリムス水和物カプセル、タクロリムス水和物顆粒を製造販売しているアステラス製薬株式会社より、年間 200 万円を超える奨学寄附を血液内科学講座に受けている。また、本研究に用いるシクロスポリン注射液、シクロスポリンカプセルを製造販売しているノバルティスファーマ株式会社より、年間 100 万円以上の講演料・原稿執筆料等を受け取っている。

研究代表医師は、利益相反管理基準を定め、実施医療機関の管理者による事実確認を行い、利益相反管理計画を作成する。研究代表医師は、利益相反管理基準及び利益相反管理計画について、国立大学法人北海道大学 臨床研究審査委員会の意見を聴き、適切な管理を行う。

3. 研究責任医師・研究分担医師等の利益相反管理

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター 血液内科の研究責任医師である藤澤信は、本研究に用いるシクロスポリン注射液、シクロスポリンカプセルを製造販売しているノバルティスファーマ株式会社より、年間 100 万円以上の講演料・原稿執筆料等を受け取っている。

京都府立医科大学附属病院 血液内科の研究責任医師である黒田純也は、本研究に用いるフルダラビリン酸エステル点滴静注用、抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリンを製造販売しているサノフィ株式会社より、年間 200 万円を超える奨学寄附を血液内科学講座に受けている。

佐賀大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科の研究責任医師である木村晋也は、本研究に用いるメトトレキサート注射液を製造販売しているファイザー株式会社と、本研究に用いるシクロスポリン注射液、シクロスポリンカプセルを製造販売しているノバルティスファーマ株式会社より、年間 100 万円以上の講演料等を受け取っている。

本研究において、利益相反申告者となる研究責任医師・研究分担医師及び統計解析責任者は、実施医療機関の管理者に研究者利益相反自己申告書を提出し、事実関係の確認を依頼し、利益相反管理計画を研究代表医師に提出する。研究代表医師は、当該利益相反確認報告書を受け取りその内容を踏まえ、利益相反管理計画を作成し、国立大学法人北海道大学 臨床研究審査委員会の意見を聴き、適切な管理を行う。

4. JSCT 研究会の利益相反管理

JSCT 研究会へ研究助成している一般財団法人地域医学研究基金へは、本研究に用いる試験薬の製造販売をし、又はしようとする医薬品等製造販売業者からの寄附等の資金提供は受けていない。研究代表医師は、利益相反管理基準及び利益相反管理計画について、国立大学法人北海道大学 臨床研究審査委員会の意見を聞き、適切な管理を行う。

以上